様式第２号(第１条関係)

推薦書

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名 |  | | | 学校等の名称 |  |
| 学業評価 | | | | | |
| １　極めて優秀  ２　優秀  ３　普通  ４　やや努力がいる  ５　努力がいる | | (学業評価の説明)  **別に定める評価基準に基づき具体的に記載してください。** | | | |
| 人物評価 | | | | | |
| １　極めて優秀  ２　優秀  ３　普通  ４　やや劣る  ５　劣る | | (人物評価の説明)  **別に定める評価基準に基づき具体的に記載してください。** | | | |
| 健　康　状　態 | | |  | | |
| 日本学生支援機構の給付奨学金の対象の有無について、下記のいずれかに「☑」を記載願います。 | | | 左記で「☑　有り」とした場合、下記に申請者が学校に納付する減免後の入学金相当額及び日本学生支援機構の給付奨学金額（月額）を記載願います。 | | |
| □　有り  □　無し | | | 減免後の入学金相当額　　　　　　　　　　　　円 | | |
| 給付奨学金額（月額）　　　　　　　　　　　　円 | | |

上記の者は、福島県理学療法士等修学資金貸与条例第２条に規定する要件を具備した者として適当であると認められますので、推薦します。

年　　月　　日

福島県知事

推薦者　学校等の名称

施設長名

（様式第２号別添）

**学校担当者の皆様へ**

**推薦書の記載方法について**

１．学業評価の基準について

○第１学年の者

①　高校等の平均評定により以下のとおり評価願います。

４．８以上　　　　　：１　極めて優秀

４．５以上４．７以下：２　優秀

４．２以上４．４以下：３　普通

３．９以上４．１以下：４　やや努力がいる

３．８以下　　　　　：５　努力がいる

　　　→上記のどの区分に該当するかを説明欄に記載願います。

　　　　　例：４．３のため、「３　普通」としました。

②　高卒認定者や社会人入学生など、評定によりがたい場合は、入学試験の順位により以下のとおり評価願います。なお、一般入試、推薦入試、ＡＯ入試など入試の種類が複数ある場合は、当該学生が受験した区分での順位で判断願います。

また、順位付けをしていない場合は、入学試験の総得点等から上位何割に該当するかをおおよそで割り出して評価願います。

合格者の上位２割以内：１　極めて優秀

合格者の上位３割以内：２　優秀

合格者の上位４割以内：３　普通

合格者の上位５割以内：４　やや努力がいる

合格者の上位５割未満：５　努力がいる

　　　　→上記のどの区分に該当するかを説明欄に記載願います。

例：試験区分の合格者８０名中、１８位であった者

　　　　　　１８÷８０＝０．２２５

→上位３割以内のため、「２　優秀」に該当。

○第２学年以上の者

**前年度の**総単位成績により評価願います。

　８０点以上が８割以上　　　　：１　極めて優秀

　８０点以上が７割以上８割未満：２　優秀

　８０点以上が６割以上７割未満：３　普通

　８０点以上が５割以上６割未満：４　やや努力がいる

　８０点以上が５割未満　　　　：５　努力がいる

→学校によって、成績区分を細分化している場合もあるかと思いますが、上記に準じて評価してください。

例（S:90点以上、A:80~89点、B:70～79点、C:60～69点、不可:59点以下としている養成施設の場合）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **科目名** | **単位数** | **成績** | **科目名** | **単位数** | **成績** |
| ○○理論 | 1 | A | ○○科学 | 2 | A |
| ○○基礎 | 1 | B | ○○生物学 | 1 | A |
| ○○実技 | 2 | S | ○○理論Ⅱ | 2 | B |
| 教養一般 | 1 | C | 実習理論 | 1 | A |
| ○○実践論 | 2 | 不可 | ケア学基礎 | 2 | S |
| ○○科学Ⅱ | 2 | S | スポーツ科学 | 1 | 不可 |
| 理学療法一般 | 1 | S | ケア学専門 | 2 | C |
| 患者心理論 | 2 | S | 検査論 | 2 | A |

●総単位数：25単位（不可となった科目の単位数も含めてください。）

●80点以上の単位数：16単位（SとAの単位数を計上。）

●16÷25=0.64⇒6割以上7割未満に該当することから、「3 普通」となる。

２．人物評価の基準について

下記の５つの着眼点により総合的に評価願います。特に県としては③を重要視しているため、必要に応じて担任教諭等による面談や聞き取りなどを通じて定着意志や本人の描いている将来像を確認願います。

　　①　当該年度の出席率

　　②　課題等の提出状況

　　③　県内定着意志

　　④　授業態度

　　⑤　他者との協調性

　上記の５つの着眼点により、どのように評価したかを説明欄に具体的に記載願います。

　例：①　出席率は９割以上である。

　　　②　提出率は普通である。

　　　③　家族をとても大切にしており、実家所在地の○○市での就業を希望しており、県内で働く意志が強いと思われる。

　　　④　真面目に受けているが、積極的に発言する場面はやや少ない。

　　　⑤　積極的にコミュニケーションを図っている。

３．その他

学校を通じて申請書類を提出せず、学生本人が直接県に提出する場合は、お手数ですが学生本人に推薦書の内容が見られないよう、**本人開封無効封筒に封入のうえ、学生に手交願います。**